

保護者様

さいたま市立常盤北小学校
校長 石崎 敬吾

令和2年度 学校評価（教育アンケートの結果）について

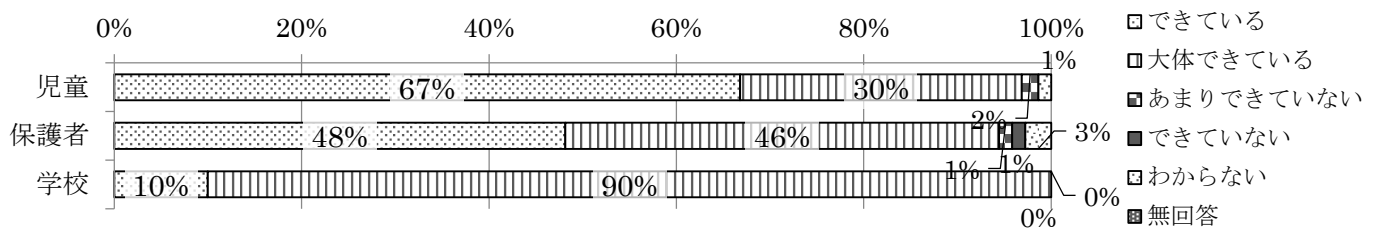
春暖の候、保護者の皆様におかれましては御健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。また、平素より本校の教育活動へ御理解と御協力を賜り、感謝いたします。

さて、令和2年11月に御協力いただきました「教育アンケート」の結果がまとまりましたのでお知らせいたします。なお、例年2月に行われる学校関係者評価委員会（学校評議員連絡会・いじめ防止対策委員会）につきましては、緊急事態宣言下のため本年度は書面での開催となりましたので御了承ください。

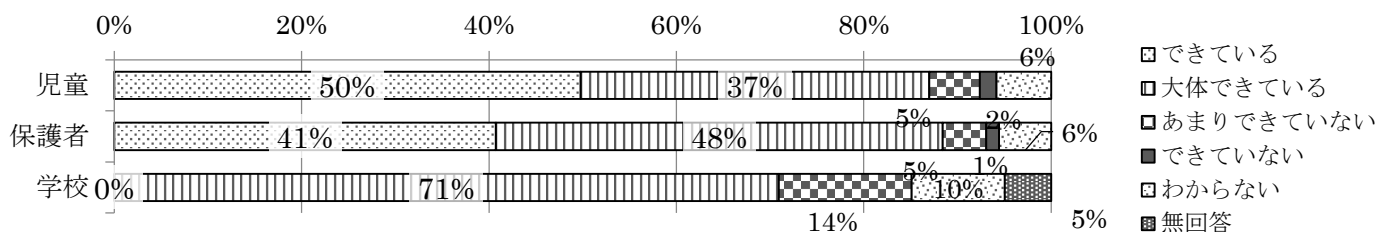
1 児童、保護者、学校の「教育アンケート」結果の比較（11～15は保護者、学校の比較）

令和2年11月実施（回答数 児童：223名 保護者：216名）

1 学校で友達と仲よく生活していますか。

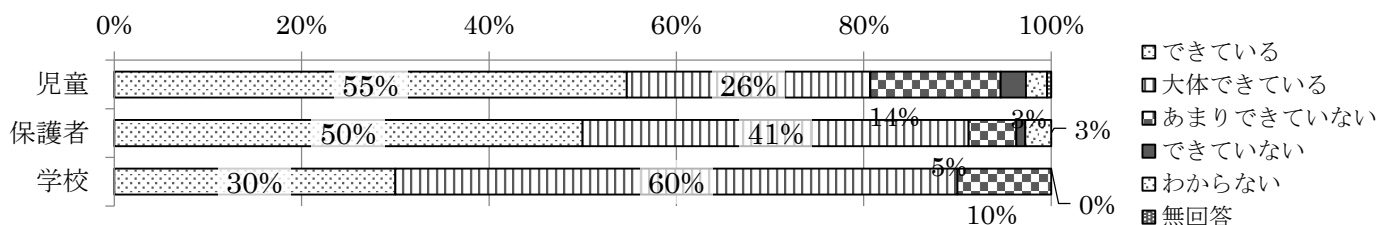


2 学校で楽しく勉強していますか。

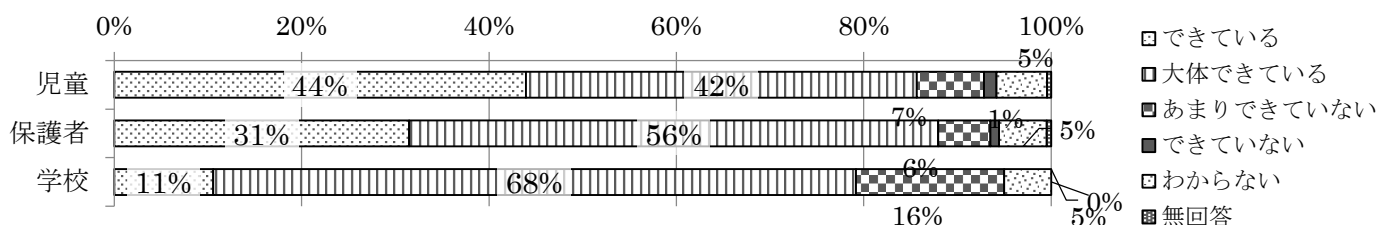


コロナ禍でも数値が落ち込まず、9割近くの児童が肯定的意見でした。休校が長引いた分、友達と会えることが楽しいのかもしれません。一方で「楽しく勉強している」と学校が自信をもって言っていないのが残念です。

3 学校で、元気に運動している。

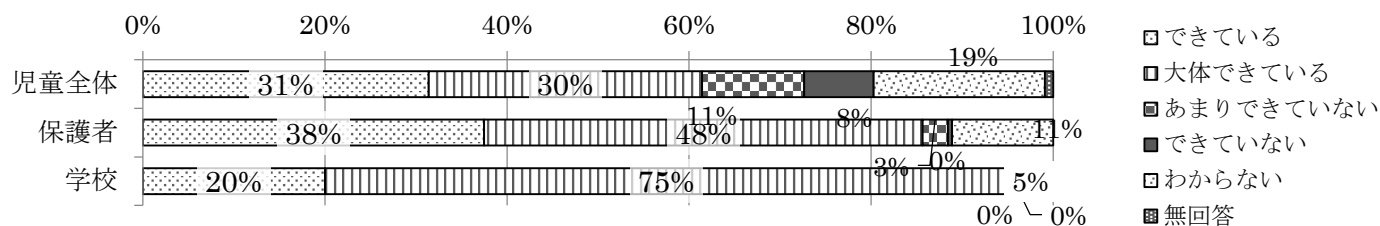


4 物事を最後までやり通している。

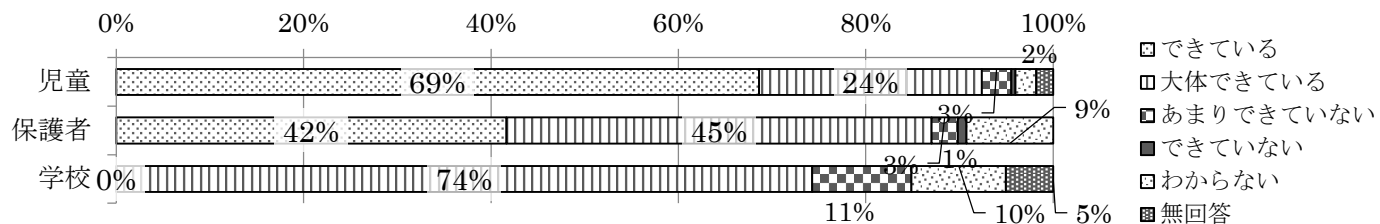


「3 運動」については、学校の評価が昨年度より伸びています。体力テストは中止となりましたが、休み時間に校庭で遊ぶ姿が多くみられるようになりました。「4 物事をやり通している」と感じる児童は昨年とほぼ変わらないものの保護者、学校の評価は上がっています。児童に実感を持たせる取組が必要だと感じます。

5 先生にはげましてもらっていますか。

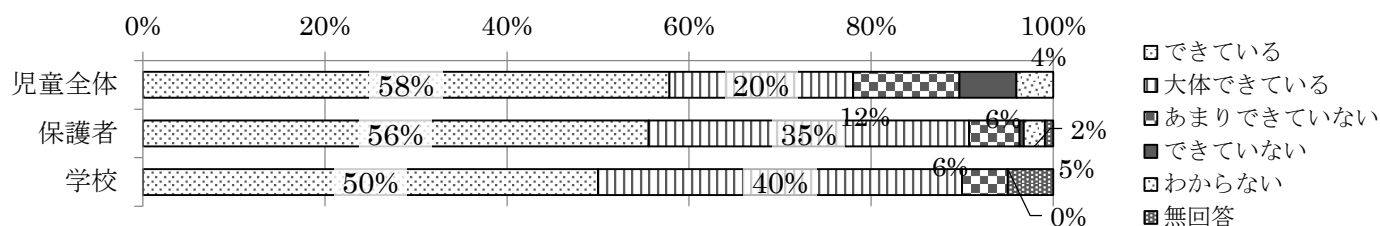


6 授業はわかりやすいですか。

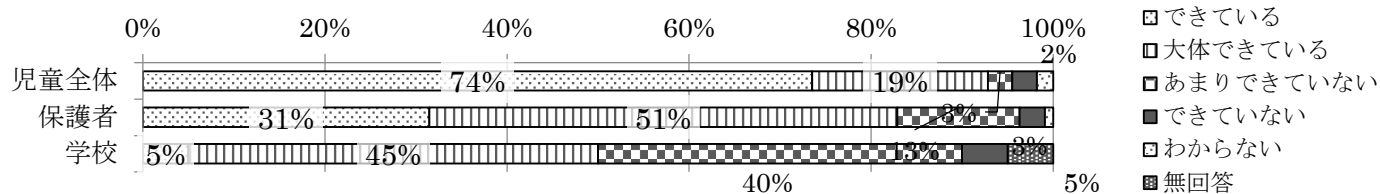


「5 先生からの励まし」について児童の肯定的意見が下がり、9割を超える学校の評価と対照的です。児童に支援が感じづらいのではないかと思います。「6 授業の分かりやすさ」は児童の評価は昨年度より上がったものの、「できている」と回答した教員がいなかったことが大きな課題だと感じます。

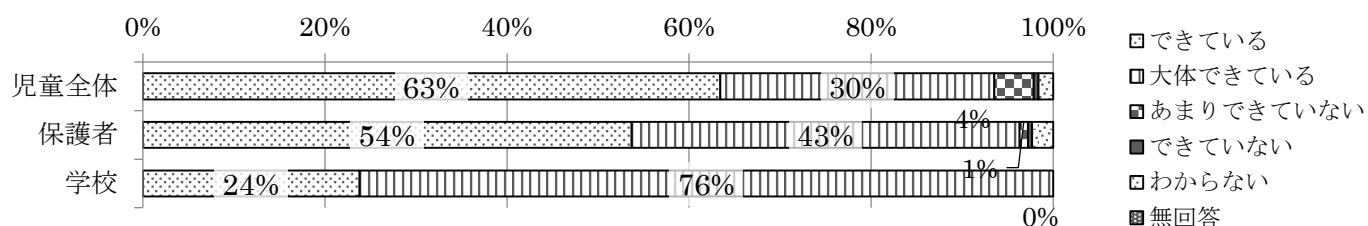
7 本を読んだり、読み聞かせを楽しく聞いたりしていますか。



8 「おはようございます」「ありがとうございます」「はい」「ごめんなさい」などのことばを自分から進んで言っていますか。



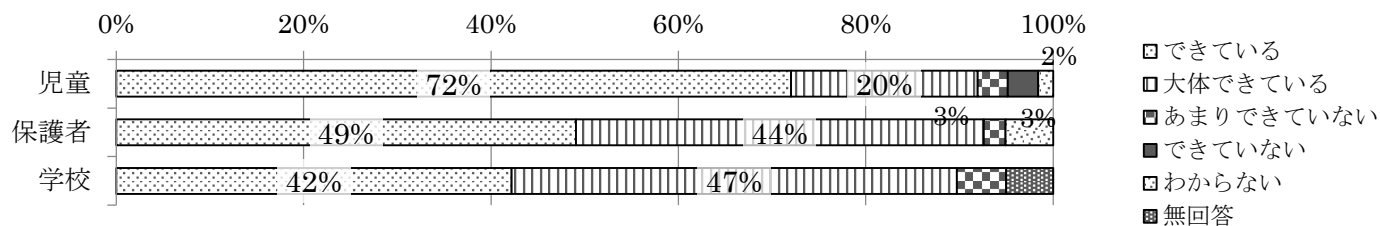
9 学校を、いつもきれいに使ったり、そうじをしたりしていますか。



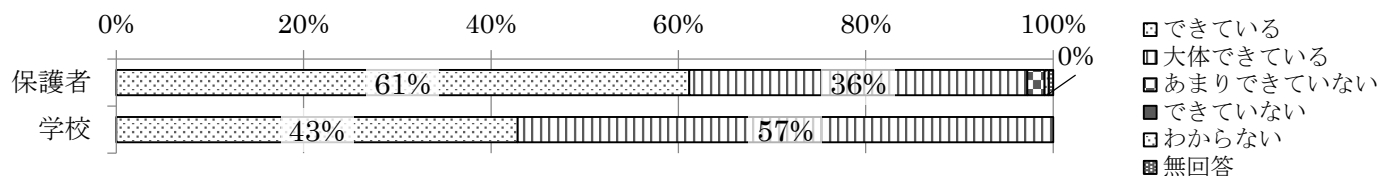
読み聞かせ活動は制限されたものの、図書委員を中心に読書活動は工夫して取り組んでいました。挨拶と清掃については児童・保護者・学校の順に評価が厳しくなっています。子どもたちが思う挨拶と大人が思う挨拶とのギャップがあるのかもしれません。

裏面もあります

10 学校の行事は、楽しいですか。（運動会、音楽会、コンサート、遠足など）

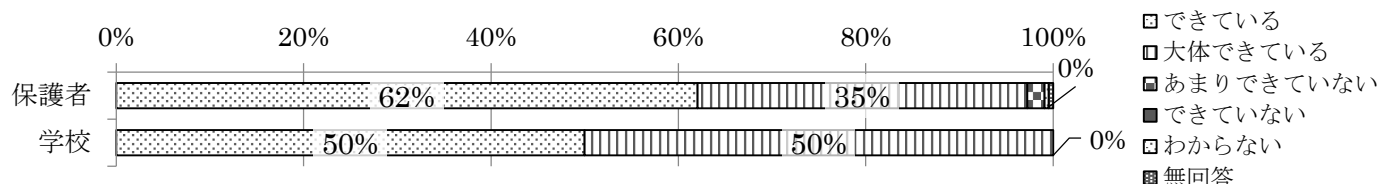


11 安全点検の実施や防犯ボランティアと連携するなど、子どもたちの安全を守っている。

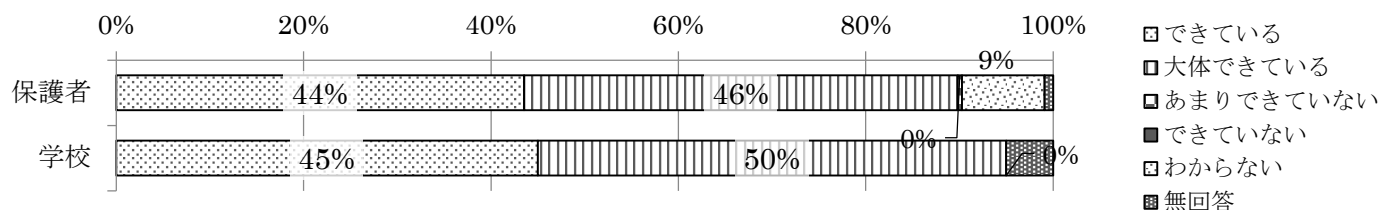


コロナ禍でも旗振りや校内見守りの御協力についてはPTAが迅速に手配してくださり、学校再開初日から今に至るまで無事に継続できています。改めて御協力に感謝申し上げます。

12 学校は、学校保健委員会の充実や「よい歯の学校」の伝統を継承する活動を推進し、健康づくりに取り組んでいる。

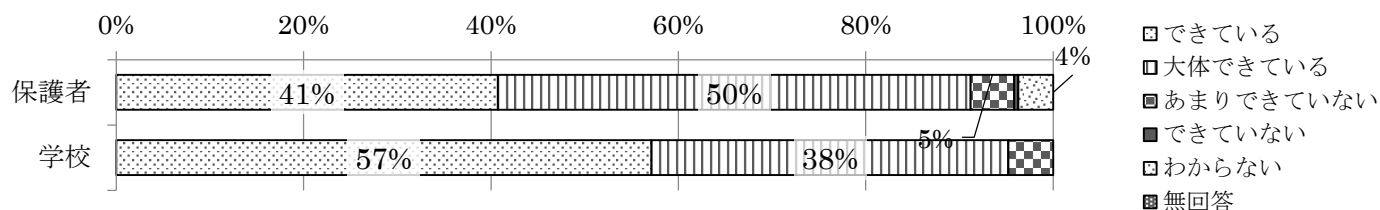


13 学校は、保護者からの相談や要望に対して適切に対応している。

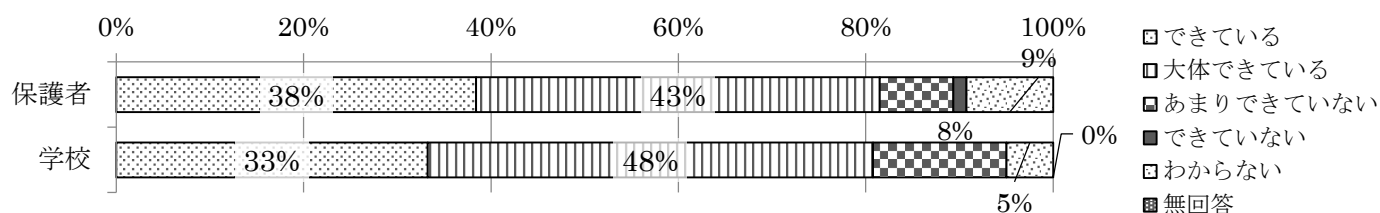


保護者からの相談や要望に対する対応については、概ね肯定的評価をいただけたと感じています。今後も丁寧かつ迅速な対応を心掛けていきたいと思っております。

14 学校から出されるお便りなどで、子どもたちの様子や学校の取組が分かる。



15 学校は、保護者や地域に対して積極的に学校を公開している。



臨時休校中は安心メールや学校ホームページの充実など連絡手段の整備を急ぎましたが、再開後そうした手段を維持継続し、さらに充実を図れたかという点では十分ではなかったと感じています。

2 教育アンケート（保護者対象）の自由記述欄の御意見

- ・読書活動について冊数を競わせるだけでなく内容も考えるようにしてほしい。
→読書活動の充実については今後も継続して内容を検討してまいります。ご指摘の点については職員側からも同様の意見が出ており、今後内容を考えさせる活動も検討してまいります。
- ・学校行事の延期などの日にちについて、事前の資料と実際が違っていたため困惑した。
→お知らせが混乱し御迷惑をおかけしました。学校間での情報共有をより確実にしてまいります。
- ・ホームページのお便りや行事写真等の更新が早いとありがたい。
→できるだけこまめに、定期的に更新できるよう努めてまいります。

コロナ禍で参観の機会が少ないため、回答が難しいという御意見を多数いただきました。また、コロナ禍での職員の対応に感謝して下さる声もいただきました。

3 学校評議員・学校関係者評価委員の皆様からいただいたご意見

- ・今年度は自治会や育成会の行事も中止を余儀なくされた。コロナ対応に悩まされた一年で学校の様子を見るのが困難だったため、保護者も回答に悩んだのではないかと。
- ・挨拶について学校の数字が低いのが気になる。一日中で一番児童に接する先生の意見を実態だと思つくと愕然とした。朝の挨拶もきちんとできない子が多いように思う。低学年は最初の様々な行事を体験することなくきているので、生活態度等を学ぶ機会が少なかったのではないかと。
- ・学校に励ましてもらっているという項目で、学校の評価に比べて児童の評価が低いことに驚いた。先生方はそれなりに努力をしても子どもたちがそう感じていないということか。
- ・児童アンケートの比較からは昨年度との差が少なく、子どもたちはしっかり友達と遊んだり、元気に運動したり、読書することができているということが分かり、安心した。
- ・学校行事が楽しいという設問に子どもたちが高い評価を出している。感染対策を取りながらの運営は大変だと思うが、小規模校だからこそできることもある。少しずつでも保護者にも公開しながら、ぜひ色々な体験を得る機会を与えてほしい。

4 次年度へ向けて

- ・「わたちたちのやくそく」や毎月の生活目標を見直して、挨拶や清掃活動など重点を置く指導事項について全教職員で共通理解を図ります。その上で、学校生活で具体的な指導場面を明確に設定して声かけを行い、子どもたちが意識しやすいように努めてまいります。
- ・教職員の授業力向上については今後も研修などを通じて自信を育んでまいります。今後は教職員同士による校内授業参観の機会なども設けることで、教職員が自らの授業を客観的に評価・改善していけるようにカリキュラム編成にも工夫を図ります。
- ・引き続き児童の見守りを徹底していじめの兆候を素早く発見するとともに、児童一人ひとりの特性を知り、よさを伸ばす指導を行うことで、自己肯定感を高め、励ましを感じやすい環境を作つてまいります。
- ・学校評議員（学校関係者評価委員）を始め、地域の方々や保護者の皆様と連携し、信頼される学校づくりを目指してまいります。そのために、学校公開、学校だより、ホームページなどを活用することはもちろん、メールなどを活用して御意見を吸い上げていく双方向の情報共有を図つてまいります。

※「教育アンケートのまとめ」についての問い合わせは、本校教頭までお願いいたします。

なお、この内容は本校ホームページにも掲載する予定です。

<問い合わせ先>

さいたま市立常盤北小学校
教 頭 小 松 伸 弘
電 話 8 2 5 - 6 3 3 6